

1. 前文

- ◆ 国際社会における多くの既存のテロ対策の内、必ずしも完全に活用できていないギャップを埋めることで国際社会全体のテロ対策を底上げ。
- ◆ 世界中にテロを拡散させる暴力的過激主義に対しては、暴力的過激主義に代わる意見の表明を強化し、強靱な社会の構築が不可欠。
- ◆ 上記考えに基づき、G7として以下の具体的な取組にコミット。

2. テロ対策

- ◆ 関連安保理決議の完全な履行、情報共有(ICPOのデータベース活用等)、水際対策(PNRの活用等)、航空保安の強化、テロ資金対策、文化財の不正取引、官民連携(インターネット関連企業等)。

3. 暴力的過激主義に代わる他の意見を表明させる力と寛容の拡大

- ◆ 暴力的過激主義防止に関する国連事務総長行動計画の支持と早急な実施の呼びかけ、教育等を通じた異文化・異宗教間の対話・相互理解促進、コミュニティ(特に女性や若者)の役割強化等。

4. 能力構築支援

- ◆ 国際・地域機関への一層効果的な技術支援プログラム実施の呼びかけ。
- ◆ 既存の援助調整に加え、アジアを含む脆弱な地域におけるG7間の援助協調。